

## 在宅医療連携拠点事業成果報告

拠点事業者名: 社団法人 中部地区医師会

## 1 地域の在宅医療・介護が抱える課題と拠点の取り組み方針について

中部地区医師会では拠点事業を開始する以前より、在宅支援診療所の医師による「複数主治医制導入に関する検討会」(平成 23年6月～)を開催し、在宅主治医の紹介、主治医・副主治医の連携体制の構築が出来ないか検討を行ってきた。

しかし、中部管内は9市町村で構成され広範囲となっており、さらには、在宅支援診療所が多い地区と少ない地区とに分かれており、それにより各々がバラバラに診療を行なっていることが現状であった。

そこで、平成24年4月より「機能を強化した在宅診療連携(3つのグループとした)」を実施し更なる在宅医師の連携の強化に努めた。

しかしながら、今後は医師の連携だけではなく、在宅医師の更なる確保や、診療所と連携病院、歯科医師、薬剤師等との連携、多職種間の連携という課題が出てきた。

そこで、本事業にて、ITシステムを構築し、そのシステム内にて多職種の連携や情報共有や情報提供を行なう方針を設けた。

## 2 拠点事業の立ち上げについて

本事業の立ち上げにあたっては、当会担当理事並びに当会在宅医療連携推進委員会(担当理事が委員長)を主要メンバーとした。

## 3 拠点事業での取り組みについて

### (1) 地域の医療・福祉資源の把握及び活用

#### 【医療・福祉資源の作成】

医療・介護・福祉資源の把握及び活用を図るため、「中部地区医師会 医療・福祉資源」を作成した。

対象事業所は、医療機関(病院、診療所)、機能を強化した在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、訪問介護・ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、地域連携室(中核病院)とした。

各事業所について、①住所、電話番号、FAX 番号、②医療機関(病院については病床数)を調査した。

### (2) 会議の開催(地域ケア会議等への医療関係者の参加の仲介を含む。)

会議の開催については、在宅医療推進委員会をはじめ必要があれば担当理事との打合せ会を随時開催。

開催日は下記のとおり。

○在宅医療推進委員会

- ・H24 6/4 第1回テーマ「機能を強化した在宅診療連携について」「平成24年度在宅医療連携拠点事業について」
- ・H24 8/8 第2回テーマ「平成24年度在宅医療連携拠点事業実施に伴う各中核病院への協力依頼」「各研修会の開催について(案)」「中部地区在宅医療ネットワークシステム構築について」
- ・H24 10/25 第3回テーマ「第1回研修会アンケート結果及び第2、3研修会開催内容について」「中部地区在宅医療ネットワークへの参加及びうんようについて」
- ・H25 2/13 第4回テーマ「第3、4回研修会のテーマ及び内容について」

○担当理事との打合せ会

- ・H24 7/25 第1回テーマ「中部地区在宅医療ネットワークへの参画について」「中部地区在宅医療ネットワークホームページの開設について」

「平成24年度在宅医療連携拠点事業計画について」

・H24 8/15 第2回テーマ「第1回研修会内容について」

・H24 10/10 第3回テーマ「第1回研修会アンケート調査結果報告並びに第2回研修会内容について」「中部地区在宅医療ネットワーク参加・運用状況について」

・H24 11/5 第4回テーマ「第3回研修会について」「中部地区在宅医療ネットワーク(サイボウズシステム)普及活動について」

・H25 1/10 第5回テーマ「南九州・沖縄ブロック在宅医療連携拠点事業 発表会について」

・H25 1/24 第6回テーマ「南九州・沖縄ブロック在宅医療連携拠点事業 発表会について(再確認)」「今後の事業計画について」

・H25 1/30 第7回テーマ「平成24年度在宅医療連携拠点事業成果報告会について」

・H25 2/12 第8回テーマ「平成24年度在宅医療連携拠点事業について(未実施タスク)」

・H25 3/11 第9回テーマ「第4回研修会テーマ・内容について」

・H25 3/16 第10回テーマ「第4回研修会講師等との内容確認」

### (3) 研修の実施

研修会は4回実施し、開催日時、テーマ、参加人数は下記のとおりとなっております。

・第1回研修会(平成24年9月6日開催)

講師:南部徳洲会病院リハビリ室室長 玉城 滋 氏  
他スタッフ数名

テーマ:「介助時のボディーメカニクス～看護・介護スタッフが負担のないケアの仕方～」

参加者 176名



・第2回研修会(平成24年10月25日開催)

講師:山本クリニック院長 山本和儀 先生

テーマ:「看護・介護スタッフのためのストレス解消、上手な付き合い方」

参加者 78名



・第3回研修会(平成25年3月6日開催)

多職種間による意見交換会(K・J法にて)

テーマ「在宅医療に求められるもの」

参加者 113名



・第4回研修会(平成25年3月27日開催)

講師:沖縄県立中部病院皮膚科医長 佐藤浩信先生

沖縄県立中部病院認定看護師 伊禮 徹 氏

テーマ:「褥瘡の予防と処置」

参加者 89名



### (4) 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築

当会では、平成24年4月から開始されました「機能を強化した在宅診療連携」にて下記のとおり3つの

グループに区分し、24時間365日在宅医療・介護提供体制の構築を行なっております。

※グループ別に毎月カンファレンス実施

1. 在宅療養支援診療所(機能を強化した連携)グループ1				
市町村 No.	医療施設名	在宅医師名	所在地	TEL/FAX
豊野市	1 旭クリニック	金塚 光世	〒901-2226 豊野市島敷2-2-1	TEL 898-2233 FAX 898-2267
	2 まえはら内科	宇津 達也	〒901-2210 豊野市高家原3-19-B	TEL 870-2607 FAX 870-2607
	3 医療法人産母会おそかわクリニック	観川 富高	〒901-2212 豊野市島田1-29-1	TEL 893-5511 FAX 893-5550
	4 西平医師	西平 守樹	〒901-2205 豊野市赤道2-2-2	TEL 898-0024 FAX 898-0766
	5 医療法人ウリキんの苑かりゆきクリニック	砂川 謙二	〒901-2226 豊野市島敷4-25-15	TEL 898-0595 FAX 898-3668
	6 総合医療センタークリニックさきのわん	天願 勇	〒901-2223 豊野市犬山7-7-22	TEL 890-1213 FAX 890-1215
2. 在宅療養支援診療所(機能を強化した連携)グループ2				
市町村 No.	医療施設名	在宅医師名	所在地	TEL/FAX
中津市	1 医療法人産母会松原クリニック	神永根智康	〒944-2171 中津市高橋7-23-14	TEL 933-8000 FAX 930-3000
	2 医療法人あなの会こぞクリニック	川平 雄 丸城 清祥	〒904-0014 沖崎市沖原町19-1	TEL 938-1038 FAX 930-2807
	3 社会医療法人敬愛会あひなクリニック	福盛 元 神楽根 淳尚 杉田 清剛	〒904-2143 沖崎市知花8-25-15	TEL 939-1301 FAX 939-7931
読谷村	4 医療法人アハートケア三城クリニック	玉城 修	〒904-0090 読谷村宇都屋245	TEL 956-1328 FAX 956-1280
3. 在宅療養支援診療所(機能を強化した連携)グループ3				
市町村 No.	医療施設名	在宅医師名	所在地	TEL/FAX
豊野市	1 ヴェルワイフクリニック	玉城 清	〒904-0101 北谷町上野原630-7	TEL 989-9211 FAX 989-9212
	2 医療法人安心会豊野クリニック	中田 定彦 高田 靖	〒944-2171 沖崎市高原5-15-11	TEL 939-5114 FAX 939-0156
	3 伊豆クリニック	西川 高広	〒904-1115 うるま市石川伊波431	TEL 964-5735 FAX 964-5750
読谷村	4 医療法人社団泰山会まつしまクリニック	松嶋 顕介	〒904-0320 読谷村宇都屋604-2	TEL 958-6886 FAX 958-6803
	5 読谷村診療所	小嶋川 慎	〒904-0305 読谷村宇都屋179	TEL 956-1151 FAX 956-9560
	6 医療法人ワイフケア読谷ライフケアクリニック長浜	高谷 裕	〒904-0324 読谷村宇都屋1530-1	TEL 982-9000 FAX 982-9010
	7 野村ハートクリニック	野村 秀樹	〒904-0202 高平納町宇屋島1083-1	TEL 982-8810 FAX 982-8341

### (5) 地域包括支援センター・ケアマネジャーを対象にした支援の実施

当会では、センターとなっている訪問看護ステーションに総合相談窓口を設置し、その中で地域包括支援センター・ケアマネジャーへの支援を行なった。また、各研修会でもそれを実施している。

### (6) 効率的な情報共有のための取組(地域連携パスの作成の取組、地域の在宅医療・介護関係者の連絡様式・方法の統一など)

当会では、中部地区在宅医療ネットワーク(サイボウズシステム)を構築・試行しており、参加事業所間でサイボウズ内メールにて連絡を取り合い情報の共有を行なっております。



### (7) 地域住民への普及・啓発

在宅医療について、地域住民は把握しておらず、それを少しでも理解していただくために、第3回研修会(多職種間の意見交換会)を実施した際に、新聞社の協力を得、右記のとおり新聞へ掲載していただき普及・啓発を行なった。



### 4 特に独創的だと思う取り組み

当会では、本事業を実施するにあたり、中部地区在宅医療ネットワークを立ち上げ、会員施設はもとより、訪問看護ステーション、訪問介護ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、地域連携室(中核病院)への内容説明会を実施。また、システム担当者が各講演会(在宅関連)へ足を運び、スライドを用いて参加者へ中部地区在宅医療ネットワークの運用説明、参加の呼び掛けを行なった。

### 5 地域の在宅医療・介護連携に最も効果があった取り組み

当会では、機能を強化した在宅診療連携のグループを構築し3グループ各地域ごとに区分しており、そのグループが核となり地域の在宅医療を行なっている事。

### 6 苦労した点、うまくいかなかった点

当会管轄の市町村が9市町村と広範囲になっており、なかなか連携がとれず苦労した。

## **7 これから在宅医療・介護連携に取り組む拠点に対するアドバイス**

行政との連携を密に行なえば、地域住民に対する在宅医療の普及・啓蒙活動はスムーズに行え、また、多職種協働による意見交換会も定例化が可能であれば多職種間の連携もスムーズに行なえると思う。

## **8 最後に**

本事業にて構築した中部地区在宅医療ネットワーク(サイボウズシステム)を有効活用し、多職種間の連携を密にとり、在宅医療の更なる普及を目指していきたいと思います。